日本学術会議 防災に関する学会連携の学術フォーラムまたは公開シンポジウム (詳細は参考資料4と5に示す)

2 1期

日本学術会議公開シンポジウム「自然災害軽減のための学協会の役割と課題」 平成 22 年 3 月 31 日

東日本大震災 平成 23 年 3 月 11 日

22期

連続シンポジウム(学術フォーラムまたは公開シンポジウム)

- 第1回「今後考えるべきハザード(地震動、津波等)と規模は何か」平成23年12月6日
- 第2回「大災害の発生を前提として国土政策をどう見直すか」平成24年1月18日
- 第3回「減災社会をどう実現するか」平成24年2月29日
- 第4回「首都直下・東海・東南海・南海等の巨大地震に今どう備えるか」平成24年5月10日
- 第5回「大震災を契機に地域・まちづくりを考える」平成24年6月21日
- 第6回「原発事故からエネルギー政策をどう建て直すか」平成24年7月24日
- 第7回「大震災を契機に国土づくりを考える」平成24年8月8日
- 第8回「巨大災害から生命と国土を護る 三十学会からの発信 平成24年11月29日
- 第9回「南海トラフ地震に学界はいかに向き合うか」平成25年12月2日

23期

第10回「東日本大震災・阪神淡路大震災等の経験を国際的にどう活かすか」平成26年11月29日 第11回(最終回:防災学術連携体設立記念)平成28年1月9日

「巨大災害から生命と国土を護る - 三十学会からの発信 -」

/「防災学術連携体の設立と東日本大震災の総合対応の継承」

熊本地震・緊急報告会 平成28年5月2日

熊本地震・三ヶ月報告会 平成28年7月16日

- 第1回防災学術連携シンポジウム、日本学術会議公開シンポジウム 平成28年8月28日 /第1回防災推進国民大会
 - ・52 学会の結集による防災への挑戦 熊本地震における取組み -
 - ・ワークショップ1「火山災害にどう備えるか」
 - ・ワークショップ2「東京圏の大地震にどう備えるか」
- 第2回防災学術連携シンポジウム、日本学術会議公開シンポジウム 平成28年12月1日 「激甚化する台風・豪雨災害とその対策」平成28年12月1日
- 第3回防災学術連携シンポジウム、日本学術会議公開シンポジウム 平成29年4月15日16日 /熊本地震 追悼・復興祈念行事
 - ・熊本地震・1周年報告会 4月15日
 - ・熊本地震被災地視察 4月16日

24期

- 第4回 防災学術連携シンポジウム、日本学術会議公開シンポジウム 平成29年11月26日 /第2回防災推進国民大会
 - ・団体別セッション/ポスターセッション「衛星情報・地理情報と防災イノベーション」
 - ・連携セッション「衛星情報・地理情報を防災に生かそう」